

岡山藩研究

第95号 2025.7

編集・発行：岡山藩研究会
早稲田大学教育学部 大橋研究室気付
<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813>

////////// 目 次 //////////

【第32回総会の記録】 2024.7.6

○報告要旨

仲泉剛「江戸勤番における諸問題

—職制・選定・出世を手掛かりに—

1

○参加記

深谷克己「仲泉剛報告「江戸勤番における諸問題

—職制・選定・出世を手掛かりに—」参加記

3

根本みなみ「参加記」

4

【事務局から】

○会費納入のお願い

6

○分科会活動の御案内

6

○第32回総会の御案内 2024.7.6

10

////////// 以 上 //////////

【第32回総会の記録】

昨年7月6日(土)、オンラインで第32回総会を開催しました(参加者11名)。以下、「報告要旨」、「参加記」を掲載いたします。

○報告要旨

江戸勤番における諸問題—職制・選定・出世を手掛かりに—

仲泉 剛

はじめに

近世の大家は、参勤交代制度により、江戸への参勤が義務付けられ、一般的には隔年で江戸と国元とを往復した。大名の妻子は江戸に住むことを原則として、その家庭生活は基本的に江戸藩邸で営まれた。大名の多くは江戸で生まれ育ち、藩主に就任すると初めて国元を見る。そのため、ほとんどの大名はその生涯の半分以上を江戸で過ごしたのである。

このような藩の性格を鑑みると、江戸藩邸は、単なる藩の出先機関ではなく、且つ、京や大坂の藩邸とは違い、一年交代で藩主が居住し、かつ多くの家臣団を置いていたことから、国元藩庁と同様の行政組織を有していたと考えられる。そのため、江戸藩邸にも江戸家老や江戸用人などといったように、国元に似た藩庁組織が展開された。また、幕藩体制の構造から、国元よりも江戸藩邸の方が重要視されることもあり、これに付随するかたちで多くの藩士も江戸藩邸に居住したが、彼らも藩の体面や外聞をあらわしていたために、

編集・発行 岡山藩研究会（代表：深谷克己）

〒169-8051 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部大橋研究室気付

E-mail : hqm01233★jcom.home.ne.jp（★を@に直して送信ください）

<http://okayamahanwaseda.seesaa.net>